

# 第24回 大書心会ペン字展出品要項

主催  
後援

書道教育 大書心会  
岐阜県 土岐市 多治見市  
岐阜県教育委員会 土岐市教育委員会 中日新聞社  
財団法人岐阜県教育文化財団助成事業  
財団法人岐阜県教育文化財団

## 一、会期

平成二十一年十月九日(金)～十二日(月・祝)  
(午前九時～午後五時まで 入場無料)

## 一、会場

〒509-5121 土岐市土岐津町高山4番地  
セラトピア土岐 ☎ 0572(54)2120

## 一、出品資格

高校生以上  
一科審査会員

二科審査会員(師範)

無鑑査(教範)

一科 (書範～準四段)

二科 (三段～準初段)

三科 (1級～新人)

特別出品 (前記を除く支局長・支部長。無審査とする)  
○出品区分については、大書心誌九月号現在の規定・かな

の段級のうち、上位の方を基準にして決定する。

○本会の硬筆部に出品していない場合は、所属団体での資格を明記の上、相当する区分に出品のこと。  
つけペン・万年筆・ボールペン・フェルトペン・竹ペンその他硬筆と認められるもの(筆ペンは除く)

一科審査会員・二科審査会員・特別出品・無鑑査

## 一、作品寸法

一科・二科・三科  
六〇cm×七〇cm以内(縦横自由)

※いずれのサイズも作品の表装仕上がり(額)の寸法です。  
※規定寸法を超えた作品は審査できません。ご注意下さい。

創作、臨書、実用書等自由

## 一、作品内容

一科審査会員:五、〇〇〇円

二科審査会員:四、〇〇〇円 一科:三、〇〇〇円  
特別出品:四、〇〇〇円 二科:二、五〇〇円

無鑑査:三、五〇〇円 三科:二、五〇〇円

## 一、出品申込

出品申込書に必要事項を記入の上、九月十八日(金)までに出品料を添えて本部事務局に申込むこと。

※出品申込書は、予め各支局・支部に送付する。個人会員は本部事務局まで請求のこと。

## 一、搬入

(A) 展覧会場へ直接搬入する場合(表装済作品)  
平成二十一年十月八日(木) 午前九時半～十時半

※可能な方は、直接搬入(時間厳守)にご協力下さい。

(B) 本部へ送付(持込み)する場合(表装済作品)  
平成二十一年十月二日(金) 必着

(C) 本部へ表装を依頼する場合  
平成二十一年九月十八日(金)までに表装依頼書を本部に請求の上申込むこと。

平成二十一年十月八日(木) 午前十時半から

〒509-5134 岐阜県土岐市泉島田町一一三〇  
書道教育 大書心会

☎ 0572(55)0567(FAX 同 0558)

平成二十一年十月八日(木) 午前十時半から

会長、副会長、一科審査会員(本年度審査員を嘱託)

一科審査会員(三科について、各区分別に審査し、優秀作品に次の特別賞を授与するほか、出品者全員に賞状・賞品を授与する)。

大賞・準大賞・会長賞※岐阜県知事賞※土岐市長賞※多治見市長賞※土岐市教育長賞※岐阜県教育委員会賞※名古屋市教育委員会賞※土岐市議会議長賞※岐阜県教育文化財団理事長賞※中日新聞社賞・大書心会賞・理事長賞・師範会賞・入選

(※は申請中)

○作品鑑賞会(午後一時から)

○授賞式(教育部) 午後二時から 一般部 午後三時から

○搬出(午後四時から)

※搬出不可能の方には、後日、返送料代引きにて送付する。

○上位入賞者の昇段級については別に定める。

○級位の出品者には、一階級進級を認める。

## 一、作品鑑賞会・授賞式・搬出

平成二十一年十月十二日(月・祝)

○作品鑑賞会(午後一時から)

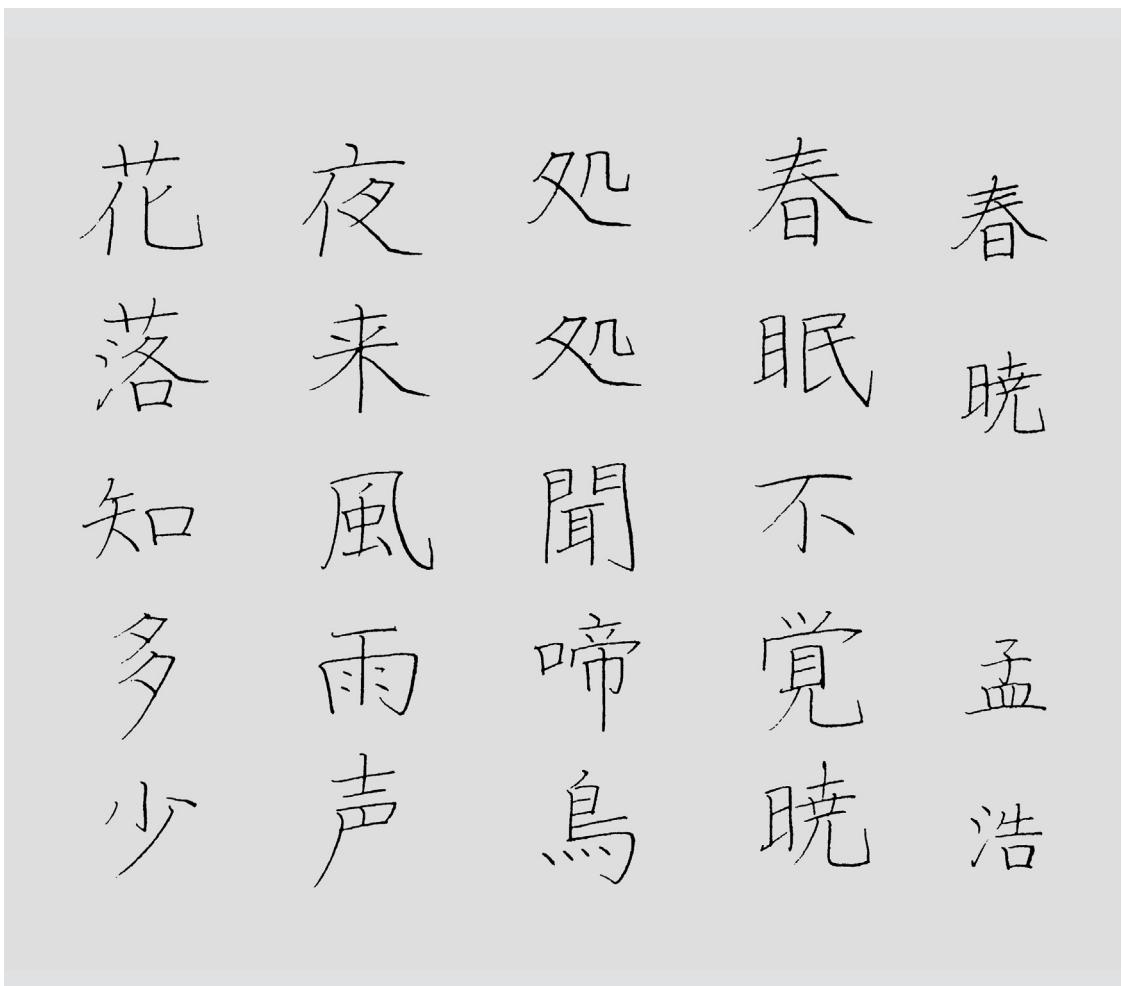
○授賞式(教育部) 午後二時から 一般部 午後三時から

○搬出(午後四時から)

※搬出不可能の方には、後日、返送料代引きにて送付する。

○上位入賞者の昇段級については別に定める。

○級位の出品者には、一階級進級を認める。



奥村憲照先生書

春の眠りのこちよさに、夜が明けたのも気づかずに寝過ごしている。あちこちで、小鳥がさえずる声が聞こえている。そういえば、昨夜は風や雨の音がしていただけれど、花はきっとたくさん散ったことだろうな。

春眠  
曉  
孟浩然

春眠  
曉  
孟浩然

處  
處  
聞  
啼  
鳥  
孟浩然

夜  
來  
風  
雨  
聲  
孟浩然

花  
落  
知  
少  
少  
孟浩然

## □作品の出し方

▼硬筆部＝B5判（二五七mm×一八二mm）以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。（黒色に限る）

▼毛筆部＝半紙に書いて下さい。筆ペンも可です。

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績（毛筆の場合は毛筆漢字の成績）を、作

品余白にお書き下さい。  
▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

- ◎作品創りの第一歩として、漢詩を題材に小品を書いてみましょう。書体・構成は自由です。
- ◎まずは、用紙に対してのバランス、行間・字間、行の中心などを整えて書くことが大切です。

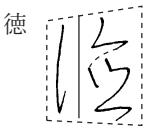
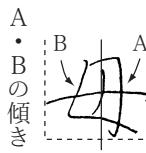
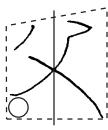
# 一般部規定課題

締切り 8月25日(必着)

準初段から六段まで

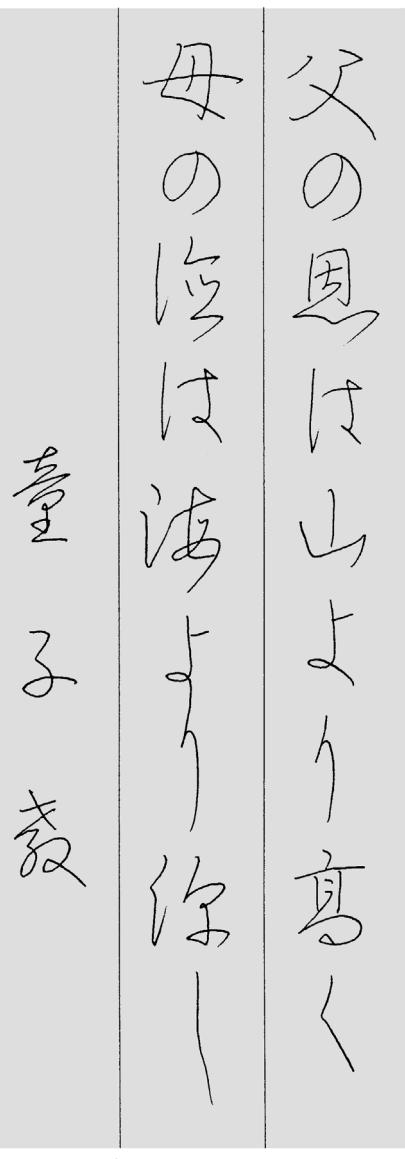
新入から1級まで

## [解説]



△教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。

どの線も極めて曲線になっている 曲線を学ぶ。

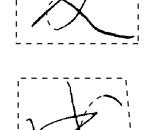
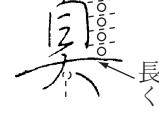
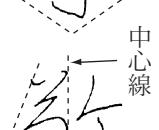


岡田龍芳書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

## [解説]



大谷清城書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

[読み] 父の恩は山より高く 母の徳は海より深し 童子教

A・Bの傾き

徳

海

リズムよく

★父の：(書体) 行草または草書  
 「童子教」児童教訓書。儒教、仏教  
 思想をもとに三二〇の句からなる。  
 江戸時代、寺子屋で用いられた教科  
 書の「童子教」に見えます。  
 両親の「恩」や「徳」は、実際に計  
 れるものではありませんが、比喩的に、  
 山と海にくらべその高さ深さの限りな  
 いことを対句で述べています。

◆9月課題予告 (楷書)  
 第一の財産は  
 健康である  
 エマーソン

★尊敬：(書体) 行書  
 フィヒテ (二三二八四)  
 ドイツの哲学者  
 ドイツがナポレオンの占領下にあつた時代、人々は卑屈になつて身近な快樂の追求のみに走るという状況にありました。だが、フィヒテは勇敢にも、救国の心情を訴えたのです。  
 人格に対する尊敬なくして、お互い成長するような恋愛が成立するはずはないのです。

★★尊敬：(書体) 行書  
 フィヒテ (二三二八四)  
 ドイツの哲学者  
 ドイツがナポレオンの占領下にあつた時代、人々は卑屈になつて身近な快樂の追求のみに走るという状況にありました。だが、フィヒテは勇敢にも、救国の心情を訴えたのです。  
 人格に対する尊敬なくして、お互い成長するような恋愛が成立するはずはないのです。

## ◆9月課題予告 (行書)

雪中に炭を送るは

眞の君子 錦上に

花を添えるは小人

教範・書範 = 楷書

▼師範 = 行草または草書

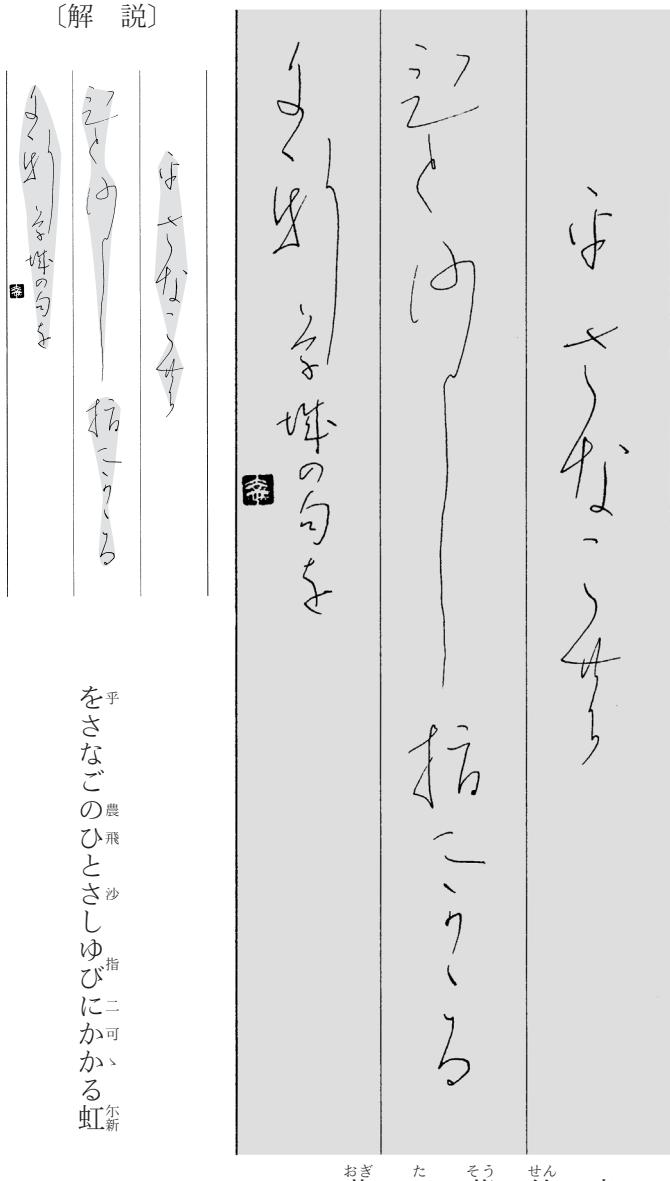
# 一般部かな課題

締切り 8月25日(必着)

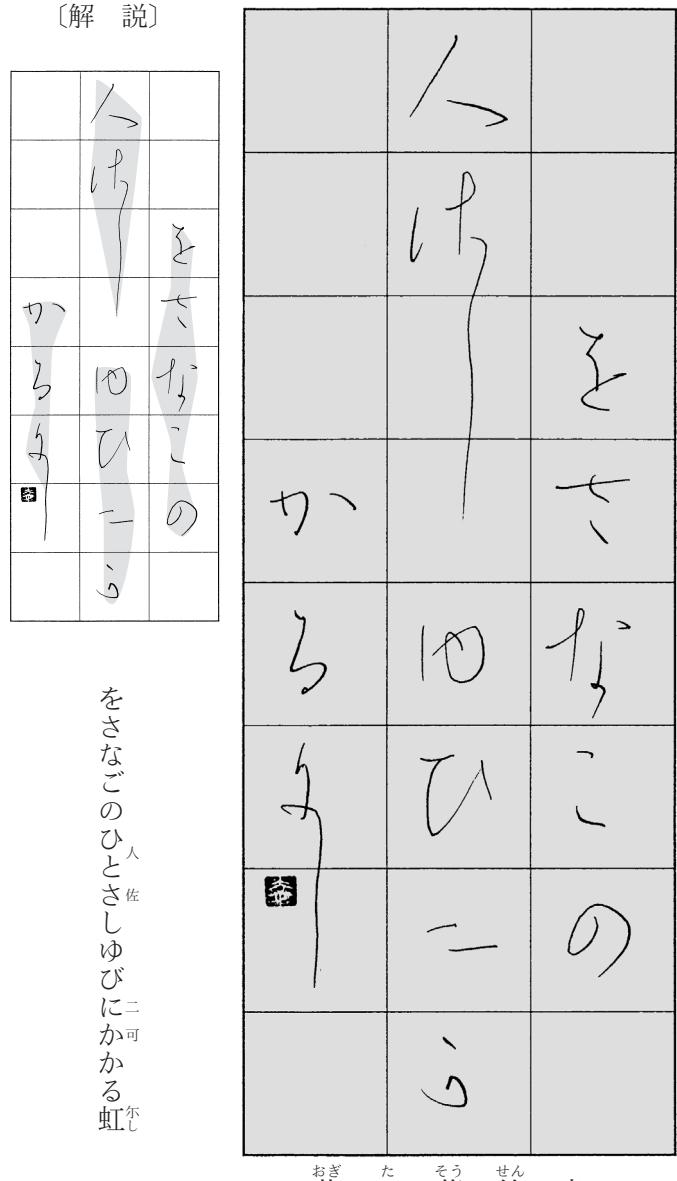
準初段から六段まで

新入から1級まで

[解説]



[解説]



▷用具=自由(黒色に限る)

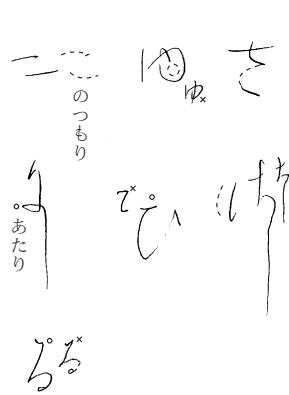
▷用紙=本会段位用紙

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

**〔段位ワン・ヒント〕**  
作品をつくる上で、形が出来る上  
がつたつもりになるものですが、  
切なのは線です。師や先輩、うまい  
書きぶりを見て、圧と速を身につけ  
ましよう。字母をよく理解し、連綿のけ  
練習をし、リズム的に書かねばなり  
ません。細太はペン先の圧力加減で可  
能ですが、加えて速度(遅速)が必  
要になります。作品に音楽を感じ  
るものですね。

終筆…ペン先を紙面からスー  
トとぬく。  
ペン先をおさえこまないように。



**〔句意〕**雨後、まっさきに虹を見つけ、  
小さな子供が指さして示す、その指  
先に淡い虹が見られるというのです。  
**〔級位ワン・ヒント〕**  
ややもすると、ペンを強く握りがちに  
なりますが、細く或いは太く書いても、  
線(画)が固く重いのはよくあります。  
お相撲さんも土俵上の勝負のときには  
重さを感じないでしょ。だからお  
金を出して見るお客様がいるのです。  
二分でも三分でも書く。数書き、多く書くこと  
もとの力に戻ってしまいます。稽古がとぎれると、  
理解してから書きましょう。手本の通じ  
り書いたつもりでも、誤字になつて  
ります。でも、誤字になつていい事  
もあります。

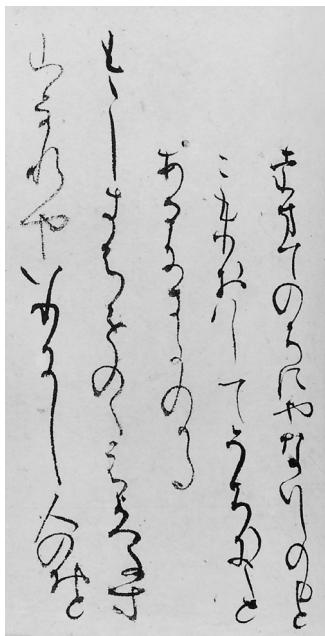
◆9月課題予告  
あきかぜ  
秋風にふつとむせたる峠  
かな  
(小林一茶)

# 一般部かな課題

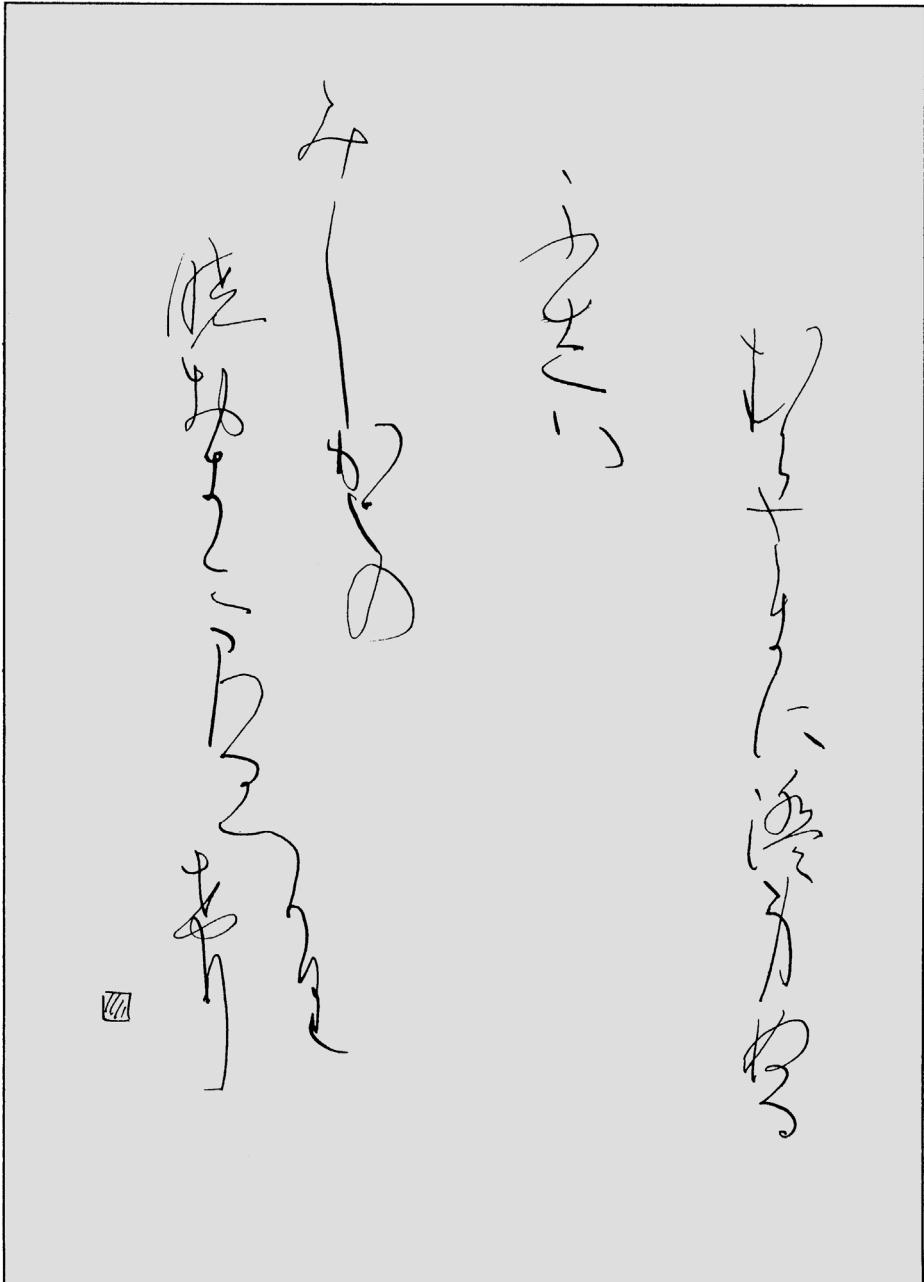
師範・教範・書範

[古筆参考]

一条摺政集



たまてのちに、やないしのもと、  
こもりおはして、うちにくと  
あるに、きたのかた  
もししきはをのゝえくたす  
山なれやいりにし人のおと

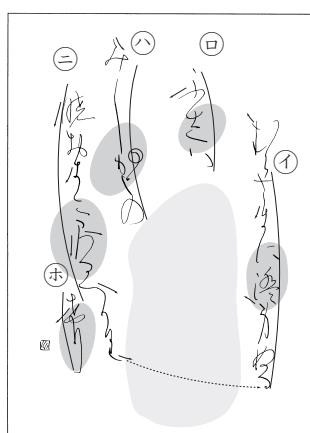


締切り 八月二十五日（必着）

築やな  
瀬せ  
舟しゅう  
香こう  
書

歌意 紫色に澄みきった富士山は、  
夏の短夜の夜明けに起きて眺めるのが  
もっとも美しくてよい。

〔歌意〕 紫色に澄みきった富士山は、  
夏の短夜の夜明けに起きて眺めるのが  
もっとも美しくてよい。  
〔出典〕 名歌即訳 若山牧水  
〔解説〕



- ・「か」の「、」の位置に注意。
- ・「か」の「、」の方向注意。
- ・大きな間どり→余白を大切に。
- ・墨の動きに注意。
- ・①と⑧、②と⑨、③と⑩、  
④と⑪、それぞれ呼応。

## 疎密

何度も触っていますが「かな」は単純形ですから、漢字のような密の部分が作りにくいものです。一条摺政集中には文字を何文字かを近づけたり、細い線からだんだん太い線にして密を作っています。これが何とも云えない魅力となっています。

## ◆9月課題予告

かたはらに秋草の花かたるらく  
ほろびしものはなつかしきかな  
(若山牧水)

締切り 8月25日(必着)

二十年ぶりの同窓会、とても楽し  
かったですね。話題の中心は孫の  
自慢と病気の事ばかりです。  
お婆さんですね。でも皆に会って  
氣持ちはまだまだ二十代。再会を  
楽しみにしています。元気でね。

二十年ぶりの同窓会、とても楽し  
かったですね。話題の中心は孫の  
自慢と病気の事ばかりです。  
お婆さんですね。でも皆に会って  
氣持ちはまだ二十代。再会を  
楽しみにしています。元気でね。

◎手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙ははがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具ははがき、横書き課題ともに自由。（黒色に限る）

横書き課題

おか岡じま嶋けい桂せん川書

織田幹雄は三段跳びで日本人

初の五輪金メダリストになった。

三重県津市 氏名

※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

# 一般部毛筆漢字課題

締切り 8月25日 (必着)

新入から1級まで (行書)

準初段から師範まで

奥むらのぶゆき臨



[読み] 松泉清響多し  
[大意] 清く吹く松風に泉の音が涼しげに響いてくる。

澤させいう雨書



[出典] 集字聖教序 (672) [筆者] 王羲之法書より集字  
[読み] 七年。道邦を窮歷し、

# 一般部毛筆かな課題

締切り 8月25日（必着）

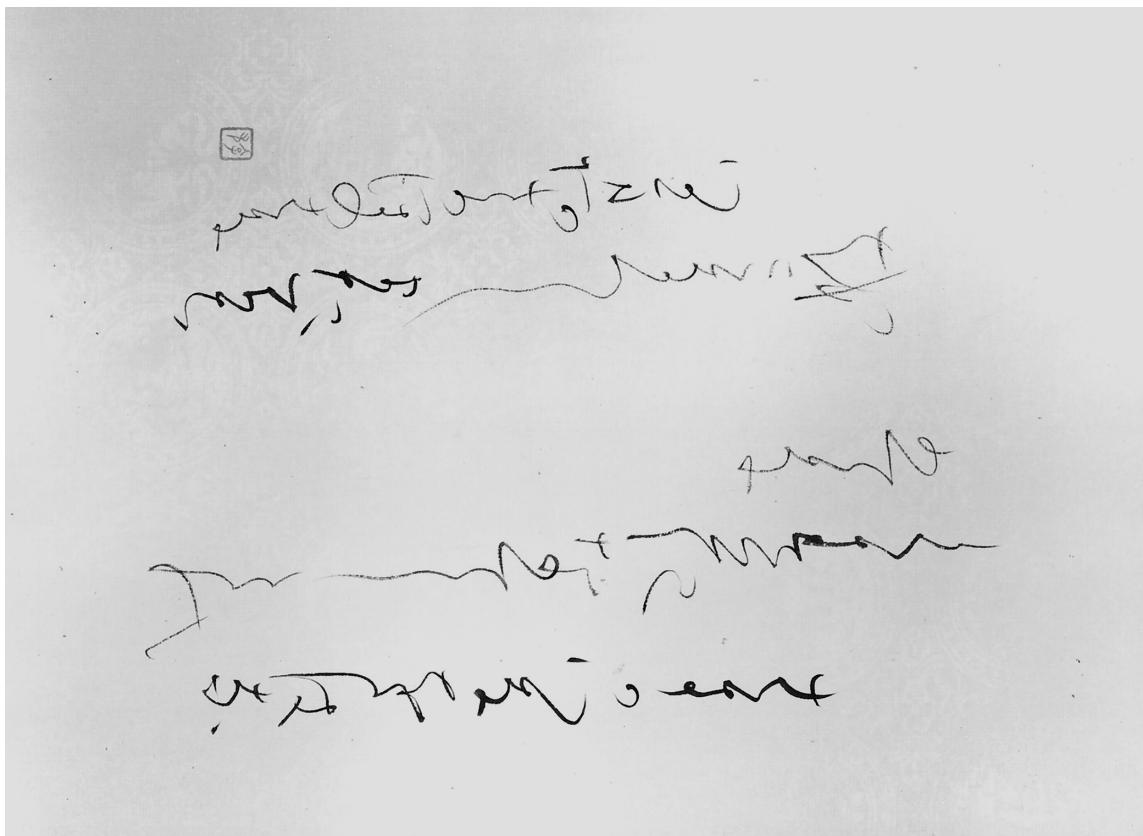
準初段から師範まで

秋風の一日何を釣るひとぞ



新入から1級まで

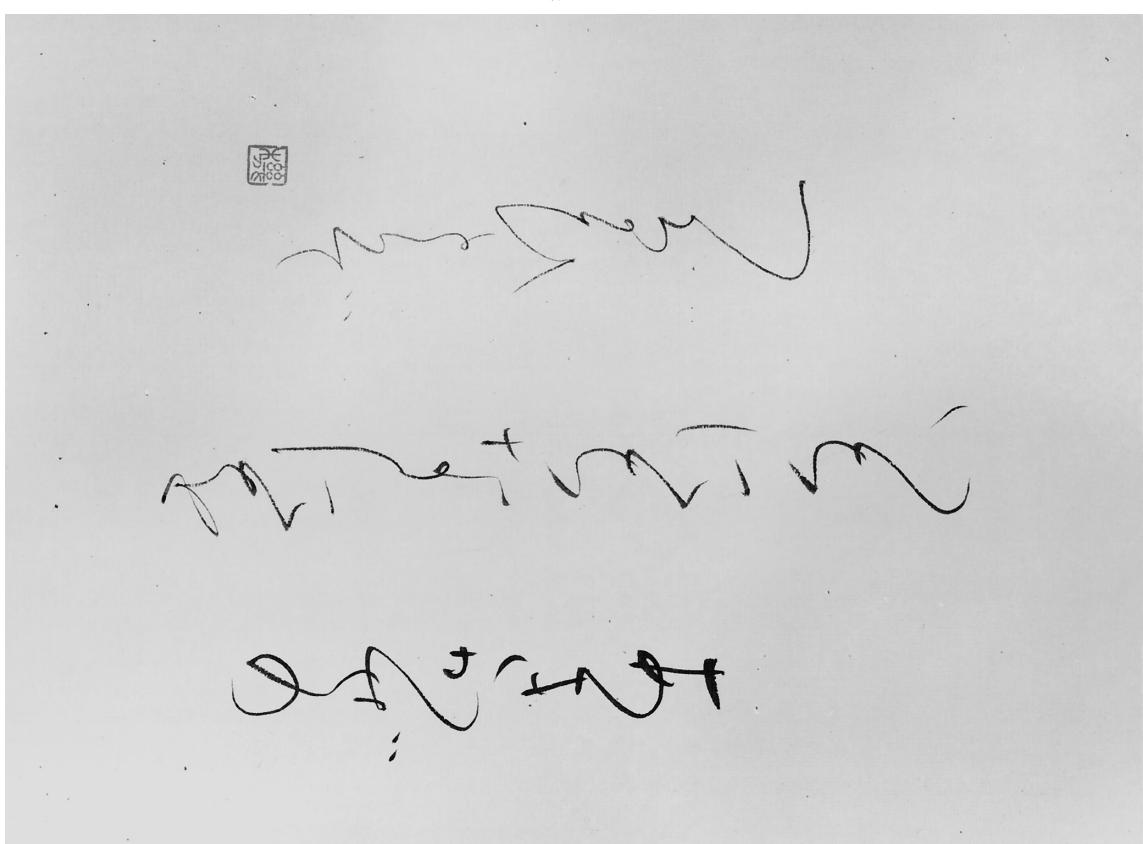
浅井機山先生書



秋萩が花尾花葛花なでここの花奈  
地三奈可八余をは奈く春可は花奈  
萩者が花尾花葛花なでここの花奈  
地三奈可八余をは奈く春可は花奈

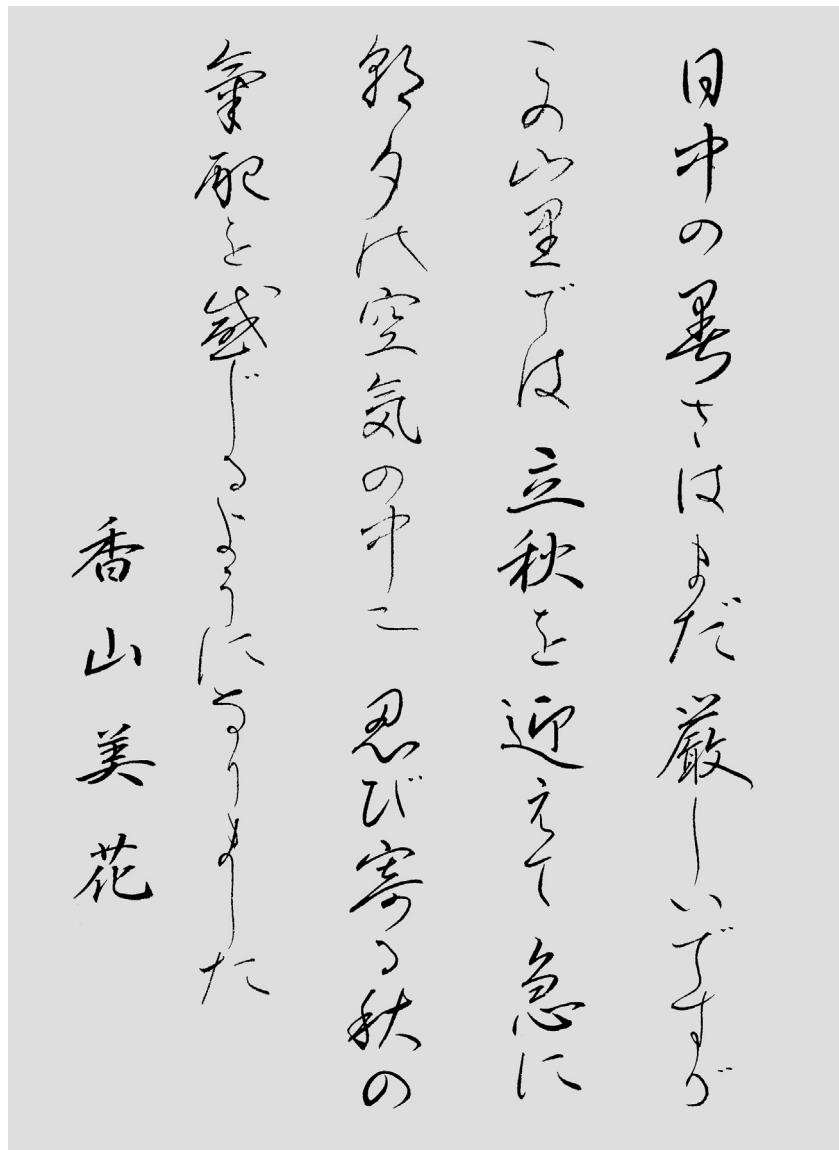
〔出典〕万葉集 山上憶良

〔歌意〕萩の花、尾花（穂の出た薄）、葛の花、撫子の花。おみなえしの花、さらに加えて、藤袴、朝顔の花。七種の花は皆なつかしいことだ。



〔出典〕正岡子規  
〔句意〕秋の河原に一日中何か釣っている人がいる。いったい何を釣っているのだろうか。静かな境地の表われた句。

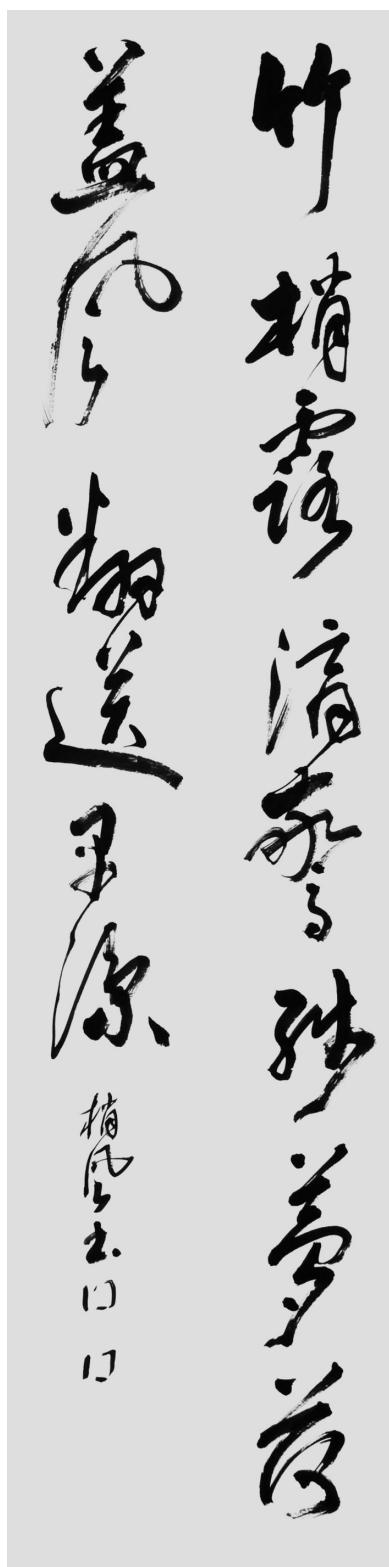
# 一般部毛筆細字課題



半紙 (334mm × 240mm)  
大宮 春兆 書

締切り 八月二十五日 (必着) 半切 (136cm × 35cm)

# 一般部毛筆条幅課題



新井 清泉 書

[古典字例]



[条幅解説] 創作への展開 (角川書道字典より)

初出品の方へ  
支部名・会員番号・  
姓名・毛筆漢字成績  
を、作品左下に必ず  
お書き下さい。

「大意」竹の枝に宿る露がしたたつて見残しの夢が醒め、蓮の葉は風にうらがえつて早くも秋らしく涼しい。

竹  
梢  
露  
滴  
清  
涼  
驚  
残  
露  
送  
早  
涼  
陸游

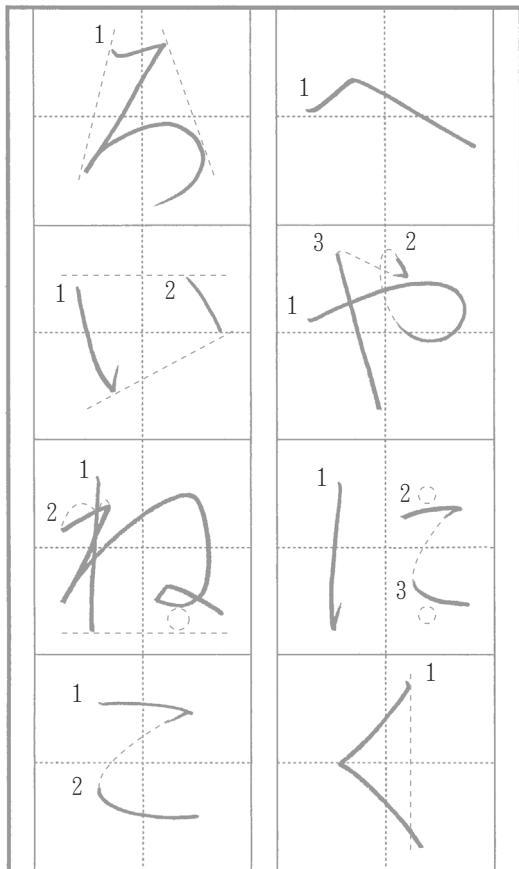
日中の暑さはまだ厳しいですが可  
この山里では立秋を迎えて急に  
朝夕の空気の中に忍び寄る秋の  
気配を感じるようになりました  
(ご自分の氏名)

・印で墨つぎしました。

[条幅・細字作品の出し方]

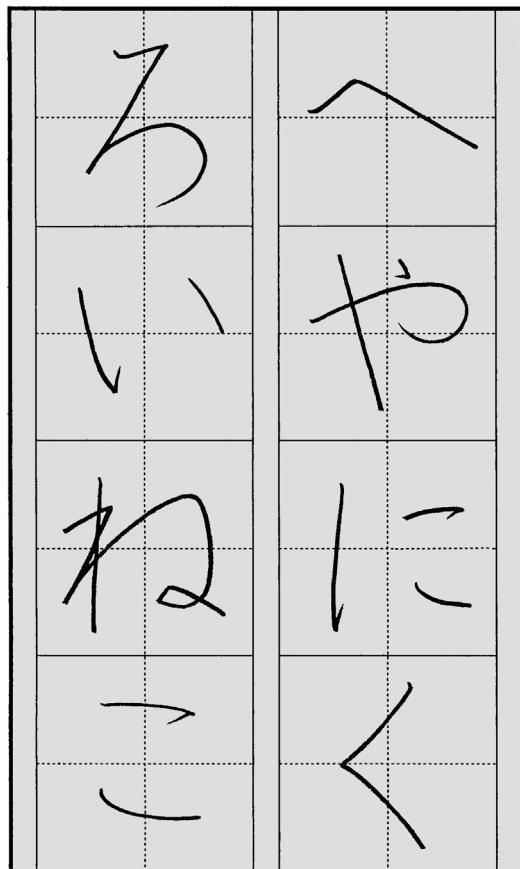
■ 新入から師範まで、どなたでも出書できます。  
■ 成績 (天位 5等) は、評価により毎月変わります。  
■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〈よつぐ〉自由 (黒色にかぎらる)



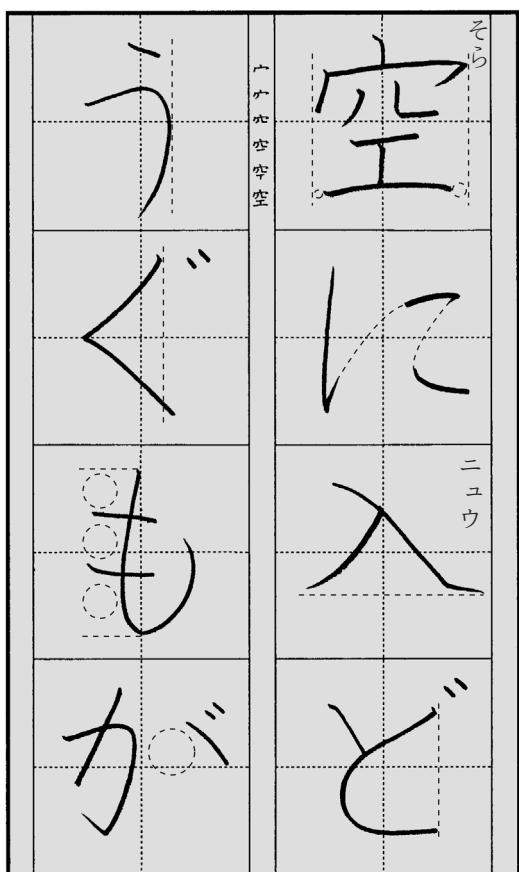
◆ひらがなトレーニング (なぞって書いてみよう)

- ★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。  
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



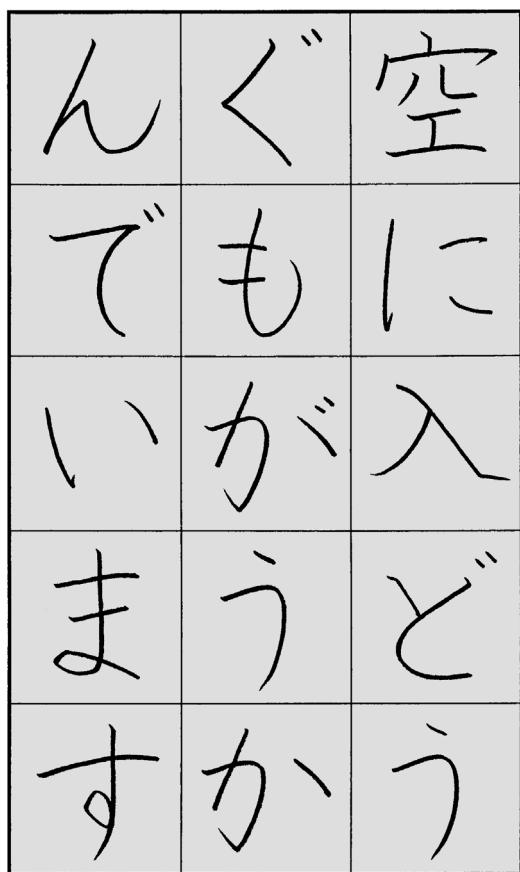
よ う 年

小三年まで  
三宅容玉書



新入～1級

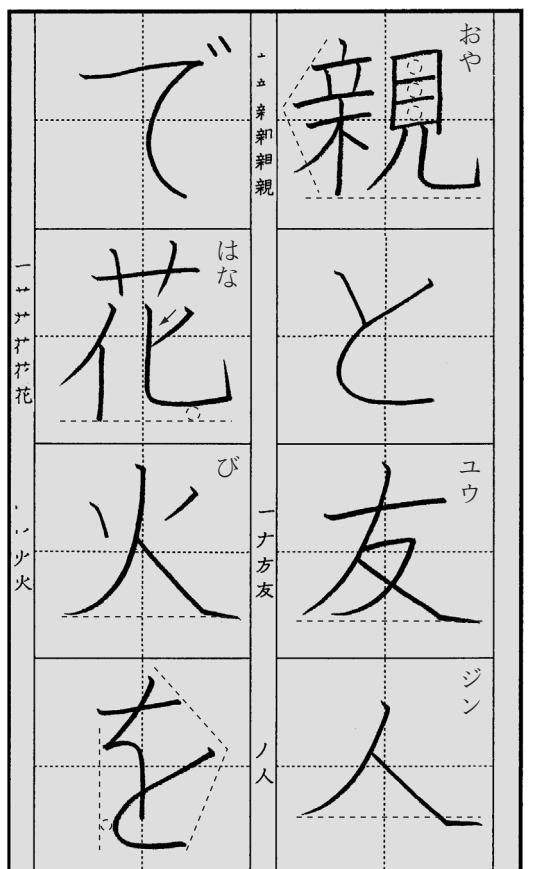
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



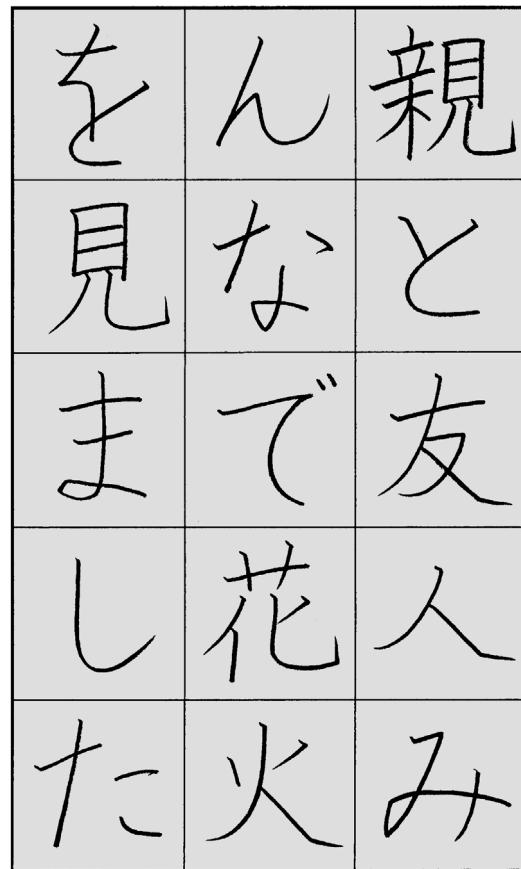
小一年

準初段以上

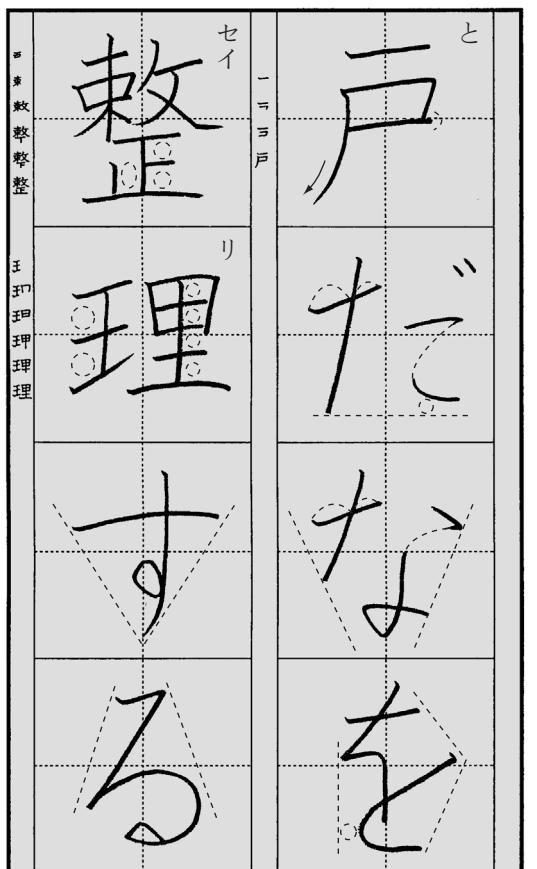
〈ようぐ〉自由 (黒色にかざる)



小二年

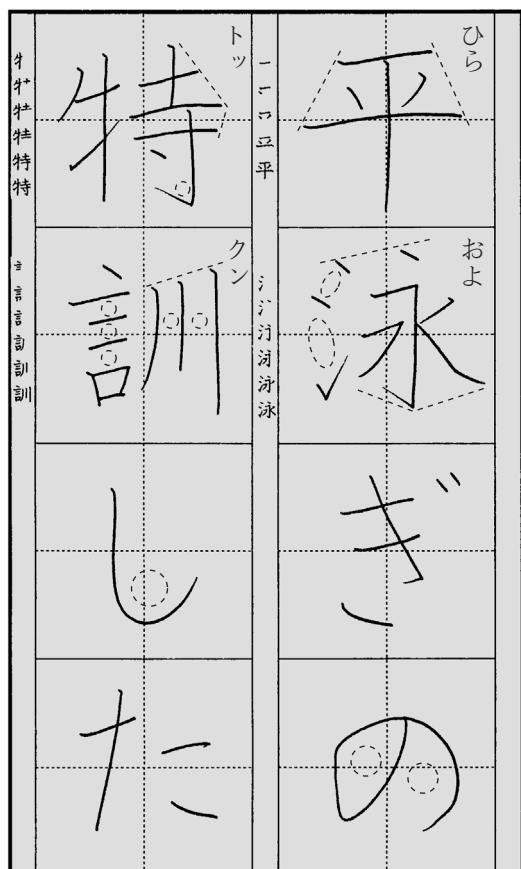


小三年



# 教育部硬筆課題

しめきり 8月25日(必着)



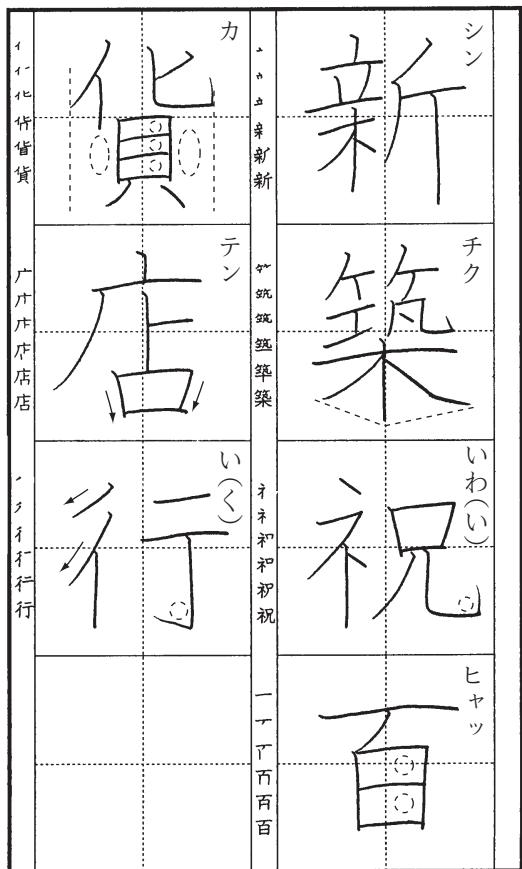
〈用具〉自由 (黒色に限る)

新入～1級



小四年

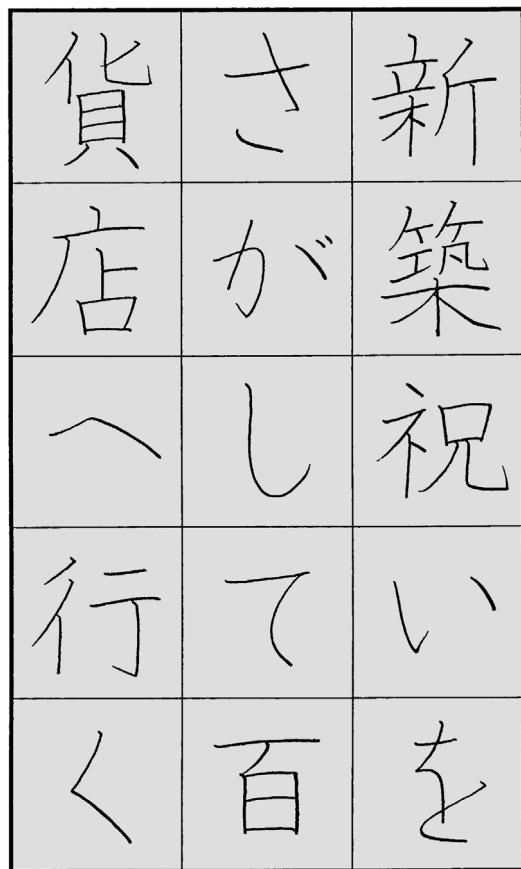
準初段以上



小四以上 尾  
郷  
翠  
光  
書

解説 (よく見て習いましょう)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。



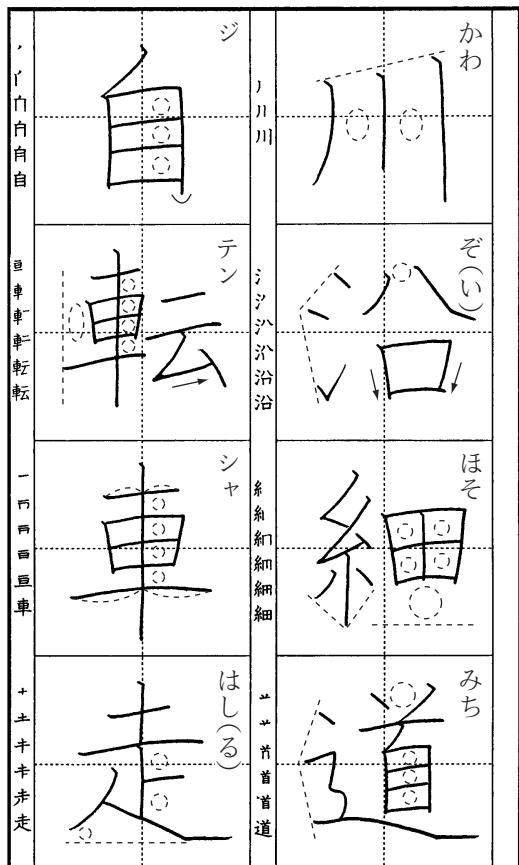
小五年

(全員)

# 教育部硬筆課題

しめきり 8月25日(必着)

〈よづぐ〉自由(黒色に限る)



解説(よく見て習いましょう)

車	い	川
で	道	沿
走	を	い
る	自	の
よ	転	細

小六年

(全員)

て	天	晴
月	体	れ
の	望	た
観	遠	夜
測	鏡	は

中二・三年 (行書)

き	治	大
氷	金	好
食	時	き
べ	の	な
た	か	字

中一年 (行書)

◎お手本は、15マスはつけペン、8マスはデスクペンで書きました。

▼小三年以下の課題

ひし  
菱  
ぬま  
沼  
こう  
光  
ほ  
歩  
書

わ	元	ひ	真	夏
ら	き	ま	つ	なつ
い	い	赤	に	の
返	り	太	陽	太
す	も	ス	陽	阳
よ		マ	か	が
		イ		
		ル		



◎お手本はえんぴつ使用

- ◇作品の出し方
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 二、四行用紙に書く場合は、文章を收まりよく短くして下さい。
- 三、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 四、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 五、成績は評価により毎月変わります。
- 六、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼つていらない方は新入とみなします。



しめきり 8月25日(必着)

習っていない漢字は、  
ひらがなで書いててもよろしい。

▼小四年以上の課題

せき  
関  
らい  
頼  
翔  
しゅう  
書

色	大	打	暗	ご
鮮	輪	ち	い	う
や	の	上	夜	音
か	花	が	空	と
で	火	る	に	共
美				
し				
い				



◎お手本はつけペン使用



